

# 北陸石仏の会々報

## 法蔵菩薩の新知見

尾田 武雄

平成二〇年に『とやまの石仏たち』を上梓して以来、やせ仏のいわゆる法蔵菩薩の像に関心を抱かれた人が多く、多数の便りが届いた。その著書では、二十八体を紹介したが、その後高知県在住の岡村庄造氏から、香川県の五体の石仏の紹介を受けた。一体は造立年がわかり、昭和二年の銘がある。その他、県内では滝本やすし氏から富山市八ヶ山公民館近くの墓地に一体石仏を紹介していただいた。佐藤武彦氏から富山市花崎(旧大山町)旧道一体、立山町松倉に一体、富山県内で合計石仏三体ご教示いただいた。

また全国的には、民族文化映像研究所の姫田忠義氏に師事し、日本列島に伝わる様々な庶民の生活文化の映像記録作業に関わる青原さとし氏から広島市西区浄土真宗本願寺派光西寺の木像一体、帝塚山大学准教授杉崎貴英氏から愛知県常滑市の浄土宗西山深草派宝樹院に木像一体のご教示を得ました。滝本氏からはその他、金沢市内の浄土宗寺院に一体、加賀市内の真言宗寺院に一体、福井市内の浄土宗寺院に二体のやせ仏を教示していただいたが、いずれも阿弥陀ではなく釈迦であると伝えられているとされる。

それから杉崎氏から『龍谷教学第四十四号』(平成二二年三月発刊)では井上見淳氏の『「五劫思惟の阿弥陀如来」肥満・憔悴論』の論文を紹介していただき、ますますやせ仏が気になる昨今である。



立山町松倉にある法蔵菩薩



富山市八ヶ山にある法蔵菩薩

### 第46号

平成27年4月10日発行

編集と発行

## 北陸石仏の会

(日本石仏協会北陸支部)

代表 北村市朗

〒939-1315

富山県砺波市太田

1770 尾田武雄方

電話 0763-32-2772

振替 00740-2-11974

(年会費 3000円)

- ・法蔵菩薩の新知見
- ・釈迦の生涯
- ・金毘羅大権現
- ・第49回例会報告
- ・第50回例会案内

# 釈迦の生涯

滝本 やすし

釈迦は紀元前七世紀〜紀元前五世紀頃、シャークヤ族王・シュッドーダナ（漢訳名 淨飯王、じょうぼんのう）の男子として、現在のネパールのルンビニにあたる場所で誕生。王子として裕福な生活を送っていたが、二十九歳で出家した。三十五歳で菩提樹の下で降魔成道を遂げ、悟りを開いたとされる。まもなく梵天の勧め（梵天勧請）に応じて初転法輪を巡らすなどして、釈迦は自らの覚りを人々に説いて伝道して廻った。南方伝ではヴァイシヤーク月の満月の日に八十歳で入滅（死去）したと言われている。「ウイキペディアより」



### 1. 降誕(富山県高岡市赤丸路傍)

釈迦はインド暦の二月十五日に生まれたと伝えられ、中国暦では四月八日を降誕としている。日本国内では四月八日または五月八日に灌仏会(花まつり)が行われているところが多い。

釈迦の降誕像は、寺院内で木像や金銅製のものを見かけることが多いが、石像の作例は少ない。北陸三県内では、この一体を確認するのみである。

### 2. 苦行(福井県福井市佐野町路傍)

二十九歳で出家した釈迦は、ウルヴェーラの林に入り、断食の修行を行ったと伝えられる。

釈迦の苦行像は降誕像と同様に、寺院内で木像や金銅製のものを見かけることが多いが、石像の作例は少ない。北陸三県内では、この一体を確認するのみである。

### 3. 出山(富山県高岡市下麻生 高野山真言宗宝泉寺)

ウルヴェーラの林での六年間の断食修行で悟りを得ることができなかった釈迦は、修行を止め、山を降りた。顔は痩せこけ、髪や髭が伸びている。

釈迦の出山像は、寺院内で木像や絵像を見かけることがあるが、石像は稀である。北陸三県内では、この一体を確認するのみである。顔面部分が剥落しており、表情がうかがえないのが残念である。

### 4. 瞑想(富山県滑川市四間町 曹洞宗徳城寺)

釈迦はその後、ナイランジャラー河で身を清め、村娘スジャータが作った牛乳の粥の布施を受けて体力と気力を回復し、ピツパラ(菩提樹)の下で瞑想に入った。

定印を結ぶ釈迦は瞑想中の姿であり、木像や石像の作例も多い。この石像は、左右に八体ずつの弟子を従えている。この石像の背後に、涅槃像が彫られた新しい石板が近年建てられている。

### 5. 降魔(作例なし)

瞑想に入った釈迦は、四十九日後に降魔成道を遂げた。十二月八日に成道会が行われているところが多い。

釈迦の降魔像は全国的にも作例が少なく、北陸三県内ではこれまでに一体も確認していない。

### 6. 正覚(富山県南砺市安居 高野山真言宗安居寺)

悟りを開いた釈迦は、梵天の勧めに応じて、苦行を共にした五人の仲間と説いた。これを初転法輪と称する。

施無畏与願印の釈迦は数多くみられ、木像だけでなく石像の作例も多い。この石像は座像であるが、他には立像の作例もある。

### 7. 説法(石川県加賀市山中温泉薬師町 高野山真言宗医王寺)

初転法輪を終えた釈迦は、自らの覚りをさらに多くの人々に説いて伝道して廻った。

説法印の釈迦は身振り手振りで人々にわかりやすく説いている姿であるが、作例は意外に少ない。この石像は近年の作のようであるが、説法印を結ぶ釈迦三尊は珍しい。

### 8. 涅槃(福井県福井市西木田四丁目 曹洞宗泰清院)

釈迦はインド暦のヴァイシャーク月の満月の日に八十歳で入滅したと言われている。中国暦での二月十五日にあたり、二月十五日または三月十五日に涅槃会が行われているところが多い。

釈迦の涅槃像は絵像の作例が多く、涅槃会に掛軸が掲げられる。石造物では、四国八十八ヶ所霊場石仏の中に第九番阿波國法輪寺のものがみられる。

しかし涅槃像の単独での作例は稀で、近年造立された徳城寺のものを除くとこの一体を確認するのみである。十年ほど前に市内足羽一丁目の金毘羅山怒相院より現在地へ移されたもので、周囲の人物等も細かく彫られている。

# 金毘羅大権現

平井一雄

1、金毘羅大権現は、梵語でクンビラといい、印度では鰐を神格化したものという。仏法を守護する夜叉王の一人であり、本来は薬師如来の十二神将の筆頭である宮比羅大將をいい、般若守護十六善神の一つに数えられる守護神である。また、釈尊が修行したというヒフラ山の守護神でもあつたともいわれる。

## 【姿・形】

よろいをまとい、武人のような姿であらわされる。

## 【功德】

航海の安全等、海の守護神といわれる。また農村にあつては、農神として祀られている。

2、神通川流域に点在する金毘羅大権現は武人という姿はなく、個人の信仰にもとずいた思われるさまざまな像容がみられる。各々屋敷神として祀られていたとされるが、屋敷神としての信仰は薄れ、他の野仏たちにいっしょに祀られていることが多い。

## 3、金毘羅像の色々

①旧大山町上馬ノ瀬キダキの金毘羅像  
通称キダキは岩山を切り開きオーバーハングの片側が黒川に落ち込み今でもいかにも難所という感じのところ、山側の吹き付けにくぼみをつけ不動明王とこの石像を祀っている。石淵の住人 山崎甚七が明治の頃、旧道で事故に逢い、金毘羅さまに祈願したところ快癒したので難所の魔除けにこの石像を奉納したという話を石淵（廃村）の花木とみえさんから聞いた。彩色が残っており桃を抱く桃太郎のような強さを意識した像容である。

②旧大沢野町岩木新の金毘羅像  
岩木新在住の浅野家の屋敷神。

このお堂の前を大久保用水が流れている。浅野家はこの用水を利用した木材運搬をしておられた時代があり家内安全、病氣平癒を願って祀られたといわれている。「金毘羅大権現」という金泥の銘があり、お宝（布地か）が供物の異形の像である。

③旧大沢野町西大沢の金毘羅像

西大沢会館の前に石堂を作り、観音石像と共に祀られている。かつては旧道に面した木造の小堂に祀られていた。大沢家の聖観音とかつて大沢家敷地に仮住まいして布教しておられた修験者の持仏である金毘羅石像といわれている。

④旧大沢野町田村町の金毘羅王

田村町を通る「飛騨街道」残存の松「天狗の松」のあつたところ、天狗の怪異として三年にわたる大火事は放火のためだと後で判明したが、この天狗松が伐採され、天狗の霊を祀った「天狗石像」と早瀬家の地藏仏とともにこの金毘羅王が祀られている。『仏像図彙』所収の金毘羅王図像に忠実な像容である。

⑤『仏像図彙』より「金毘羅王」

⑥旧大沢野町の東猪谷金毘羅像

東猪谷三叉路の石仏集積祠堂に祀られた金毘羅石像。  
この近くの山崎家の屋敷神であったが家新築時にここへ移設された。宝剣に数珠を持つ神仏習合の像容である。



③旧大沢野町西大沢



②旧大沢野町岩木新



①旧大山町上馬ノ瀬キダキ



⑥旧大沢野町東猪谷



⑤『仏像図彙』より「金毘羅王」



④旧大沢野町田村町

# 第49回例会報告

平成二十六年十月十九日（日曜日）  
 北陸石仏の会第49回例会「富山県朝日町の石仏めぐり」に参加した。秋晴れのもと立山連峰の冠雪、身近の紅葉を楽しむ。

案内人の川端さんに手書きのマップをいただき、ボランティアガイドの水野さんと共に石仏めぐりは始まった。

大平の十二社では子負いの参道狛犬、カエルが笑っているような神殿の白い狛犬を拝見。その後、境内と村の中の屋敷神を巡った。

「野菊晴れ棟反り美しき石祠」  
 境の海岸近くの一里塚を訪う。葉の茂りが密で塩害に強いので一里塚に植えられるという榎の大樹、椿の老木が遠望できる。ちなみに榎は三代目となる。昔のままに五間四方の盛り土が残されている。日月を掲げた青面金剛の前には白く丸い祈り石が並んでいた。

「冬の海一里塚なる大榎」  
 境の高野山真言宗護国寺では、ほかでは見られないほどの大きい如意

林典子(みちこ)



輪観音像を拝する。

行をする為の滝のそばに、奉納者の描いた絵を岩に刻んだという不動明王が御座した。そびえたつような大きさは迫力があつた。シヤクナゲの木が多く見られる。花の見ごろに再訪したいものだ。

境では水嶋家の墓のある西町共同墓地も訪ねた。文殊菩薩像の台石に「水嶋九平」と刻されているのが認められる。三組の六地藏と如意輪観音、十一面観音、青面金剛、准胝観音など露座のため、今後の劣化が懸念される。

「朱の残る不動明王天高し」  
 泊の曹洞宗松林寺のお目当ての彩色が美しいという如意輪観音像は手当の最中でブルーシートに覆われていた。六地藏を拝観し、宝篋印塔や一石一字法華塔を見た。六地藏の謂れを会員の方に伺った。

午後は笹川に。長井家の屋敷神は短パンにオニギリと鎌を持った坊やのようなユーモラスな像だ。石工はどんな人かと想像した。勝田家の石祠には梅の木に彫られた小さな天神様が安置されていた。大切に守られているのを感じる。また、路傍の阿



弥陀如来を車中より拝した。

大家庄の曹洞宗天香寺では住職の菅田さん、観音堂のお世話係りの池田さん、柳沢さんにお出迎えいただく。

山門横の観音堂には彩色あざやかな四十七体の石仏が安置されている。最前列中央の厨司に納まる像は、村の家庭でひと月ずつ預かっていたらしい。中でも後列の不動明王は姿も色も一際目立っていた。観音堂と向かい合って地藏堂があり、近くで拝観させていただいた。

墓域には多くの石仏や五輪塔が見られる。住職の話によると、この寺は鎌倉時代は臨済宗であった。七百年以上の歴史があり、室町時代に曹洞宗に改宗したようだ。村人たちは畑から出てきた、洪水で流れてきた、管理者が居ない等の理由で、行き場のない石仏や石塔を寺に納めたいらしい。寺と村人のかかり方が深かったのだと思った。

次に横水の一里塚へ向かった。街道の東側の題目塔の裏面には「文化八年未」（一八二一）の文字が読み取れた。西側の御堂の中の色あざやかな青面金剛を拝観。台石の向かって左に三猿、右側には鶏がはつきりと見える。左のちいさな御堂には如意輪観音、十一面観音、地藏が居られた。一体が盗難にあり、今は地藏を安置したのだという。仏像の盗難を心配せねばならない世の中になったとは嘆かわしい。

殿町では大井家の屋敷神の稲荷明神を拝する。瓦葺き朱塗りの祠に祀られている。台石に二匹の狐が向き合っていた。私はお稲荷さんは狐だと勘違いしていた。狐はお稲荷さんの使いであった。稲荷明神は昔は農耕神であったとのこと。殿町には木像のお稲荷さんも多いと聞いた。すぐ近くの観音庵を訪ねると、幾体もの如意輪観音が奉納されていた。八十八ヶ所めぐりの満願成就の際だと刻まれたのもあった。

夕日が赤みを帯びた頃、番外として舟川の長い桜並木の近くで、塚らしきものに立ち寄る。大小の石が二つ並んでいた。茨や草を踏み分けて近づいた。石には読み取りにくいものの、浅く彫られた文字のようなものが見える。が、何であるか不明のまま帰途に就いた。



大家庄の曹洞宗天香寺門前にて記念撮影

好天に恵まれ、多くの如意輪観音、青面金剛に出会えた。お世話いただいた方々、会員の皆様に深く感謝します。

「塚石の浅き筋彫り秋夕焼」

北陸石仏の会 第50回例会

## —旧金津町と丸岡町の石仏めぐり—

平成27年5月24日(日)

参加費：5000円(バス・資料代)

集合場所：①大沢野文化会館……………7時00分

②JR砺波駅南口……………7時40分

③JR金沢駅西口……………8時20分

④JR芦原温泉駅……………9時30分

申込方法：次の事項を記入の上、ハガキでご連絡ください。

住所、氏名、電話番号(携帯電話も)、集合場所

申込先：〒939-1315 砺波市太田1770 尾田武雄方 北陸石仏の会事務局

締め切り：平成27年5月15日(金)

案内：滝本やすし(金沢市)

- ◎あわら市矢地 八幡神社／太子堂
- ◎あわら市中川 路傍／毘沙門天
- ◎あわら市中川 路傍／光導名号塔
- ◎あわら市柵 八幡神社／柵古墳磨崖種子群、七重塔
- ◎あわら市清滝 路傍／善光寺式阿弥陀三尊
- ◎あわら市後山 春日神社／白山妙理権現
- ◎坂井市丸岡町篠岡 笠間神社／六十六部の石仏
- ◎坂井市丸岡町巽町 浄土宗本光院／徳本名号塔、六地藏、五輪塔(本多家歴代墓標)
- ◎坂井市丸岡町石城戸町 浄土宗白道寺／亀趺墓(日向御前墓標)
- ◎坂井市丸岡町谷町2丁目 近藤家／不動三尊、熊野権現、行基菩薩
- ◎坂井市丸岡町猪爪6丁目 猪爪第3公園弁天堂／宇賀弁財天、不動明王
- ◎坂井市丸岡町東二ツ屋 白山神社／水天



太子堂



毘沙門天

[諸事情により見学先を変更する場合があります。ご了承ください。]



白山妙理権現



不動三尊、熊野権現、行基菩薩



宇賀弁財天



水天

平成27年度の会費を、同封の振替用紙にて納めてください。年会費は3000円です。